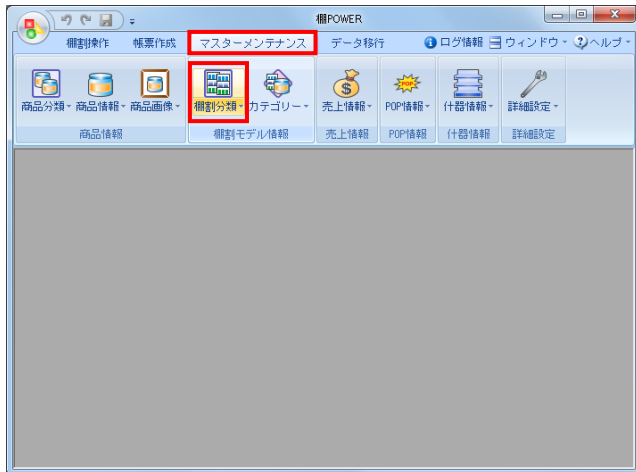


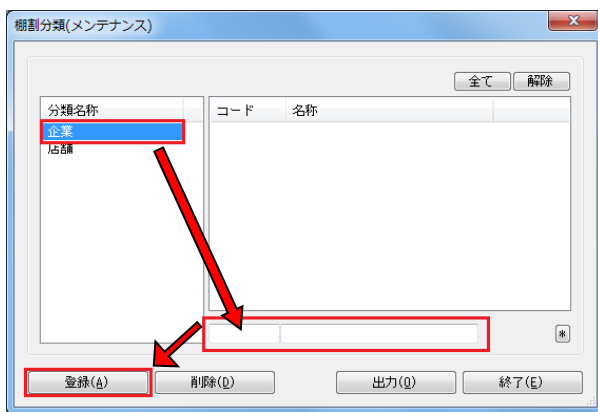
■棚割分類の登録



1. 棚割分類の登録を行ないます。
棚割分類を登録することで、作成する棚割モデルがどの企業や店舗で展開するかを管理できます。

また、棚割分類を登録すると棚割モデルを選択時に企業や店舗を指定して検索することが可能です。

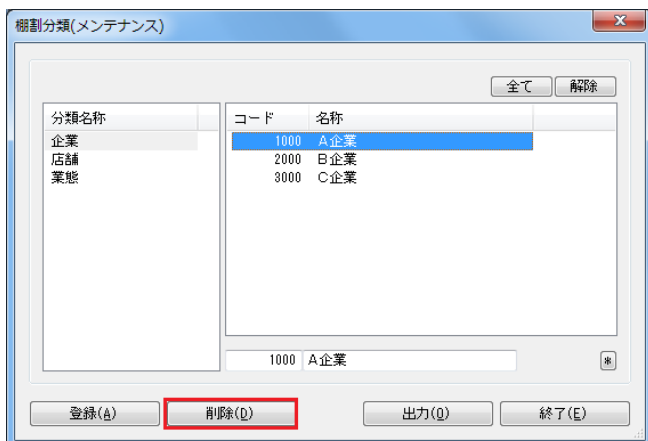
「マスターメンテナンス」－「棚割分類」をクリックします。



2. 登録する分類名称を選択します。
画面右下のテキストボックスに「コード」と「名称」を入力して「登録」をクリックします。

登録が完了すれば、画面右側の登録一覧に表示されます。

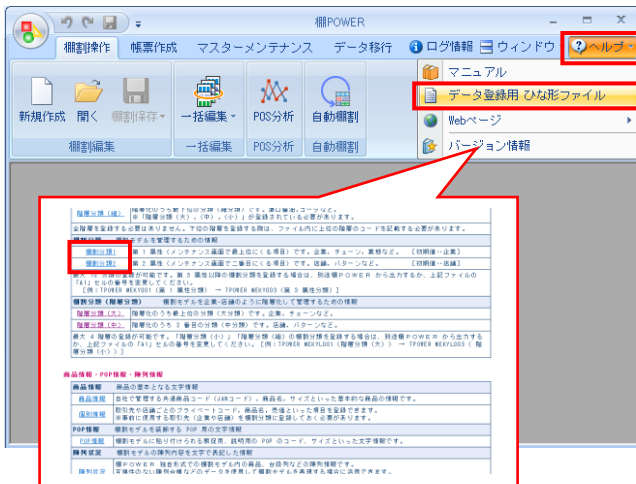
※コードは10桁までの入力が可能です。ただし、「1」と「01」では別コードでの管理となるためご注意ください。



3. 登録した分類を削除したい場合は、一覧より削除したい分類を選択して「削除」をクリックします。

※複数一括で削除したい場合は、ShiftやCtrlキーを押しながら削除したいコード・名称を選択して削除を実行します。

■棚割分類の一括登録



1. 棚割分類を一括で登録することができます。
登録数が多い場合やExcelで編集したい場合などは一括登録が便利です。

商品分類の一括登録はひな形ファイルを活用します。
[ヘルプ] - [データ登録用ひな形ファイル] をクリックします。

データ登録用ひな形ファイル一覧が表示します。
第一属性を登録する場合は、「棚割分類 1」を選択して、
任意の場所に保存します。

属性番号は棚割分類のメンテナンス画面から確認できます。
下図のように最上部に表示している棚割分類を第一属性とし、
以降は上から連番で第二属性、第三属性へと続きます。

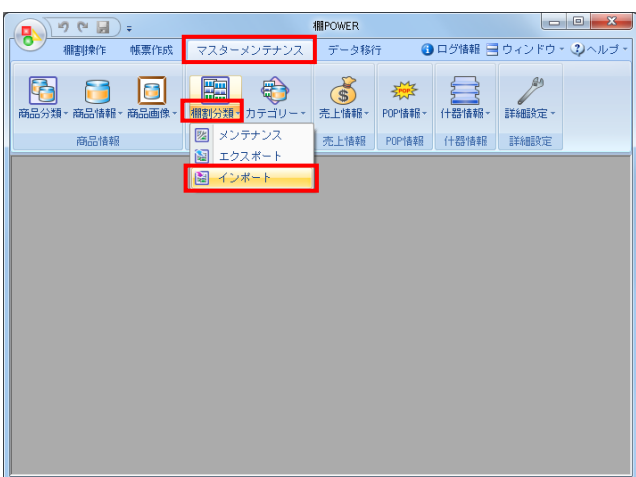
棚割分類(メンテナンス)	
分類名称	コード
企業 (第一属性)	
店舗 (第二属性)	
業態 (第三属性)	

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following data:

	A	B	C	D	E
1	TPOWER MEKY001				
2	情報フラグ	分類コード	分類名称		
3	0	10 A社			
4	0	20 B社			
5	0	30 C社			
6					
7					
8					
9					
10					

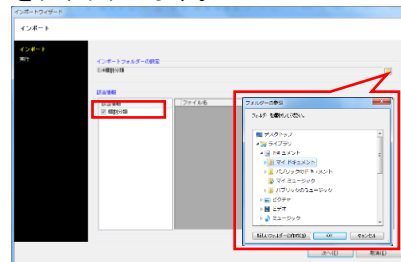
2. 出力した棚割分類のひな形ファイルを開きます。
ファイルの3行目以降に商品の各情報を入力します。

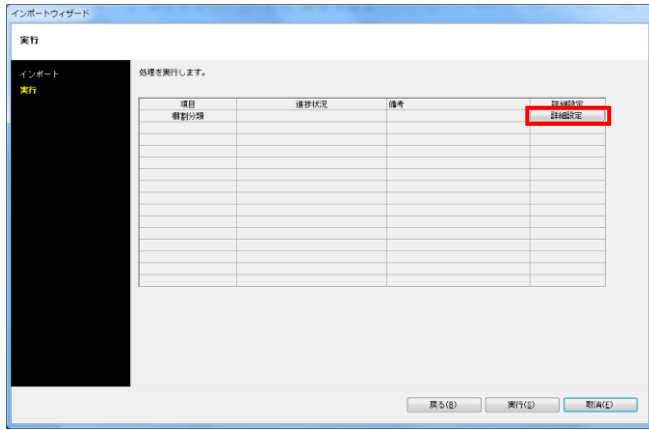
入力ができれば上書き保存してファイルを閉じます。



3. 編集したファイルをインポートします。
[マスターメンテナンス] - [棚割分類] - [インポート] をクリックします。

インポートウィザードが開くとフォルダーアイコンを選択してインポートフォルダーを選択します。
該当情報に「棚割分類」が表示したことを確認して [次へ] をクリックします。





4. 棚割分類の「詳細設定」をクリックします。
各項目の設定が完了すれば「設定」をクリックします。

【データ選択】

有効情報か削除情報か選択します。

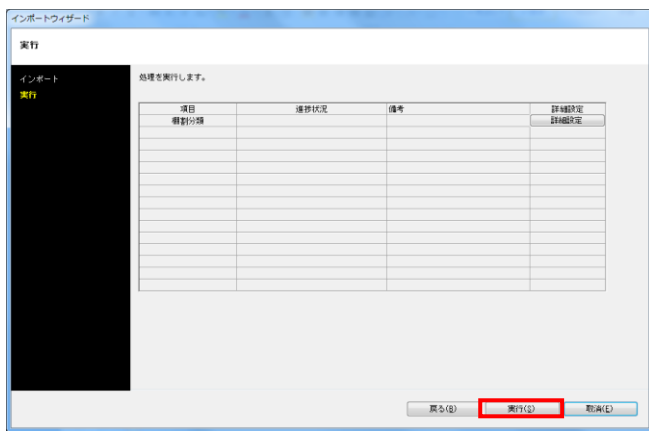
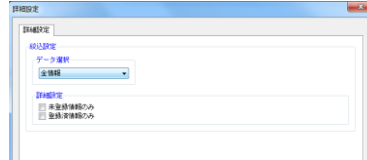
全情報は有効情報と削除情報どちらも対象になります。

【未登録情報のみ】

棚POWERに登録されていない情報のみ新規登録します。

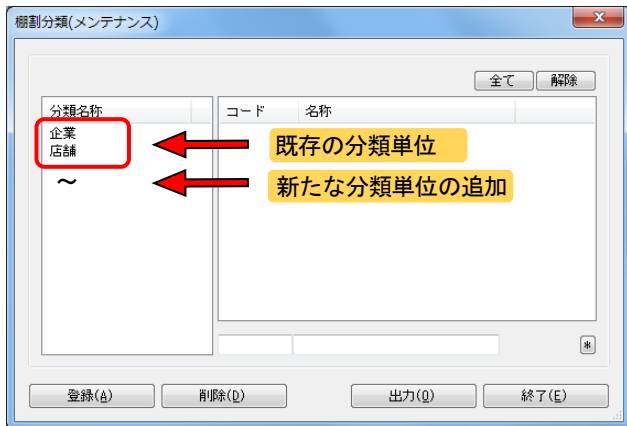
【登録済情報のみ】

棚POWERに登録済の情報のみ更新します。

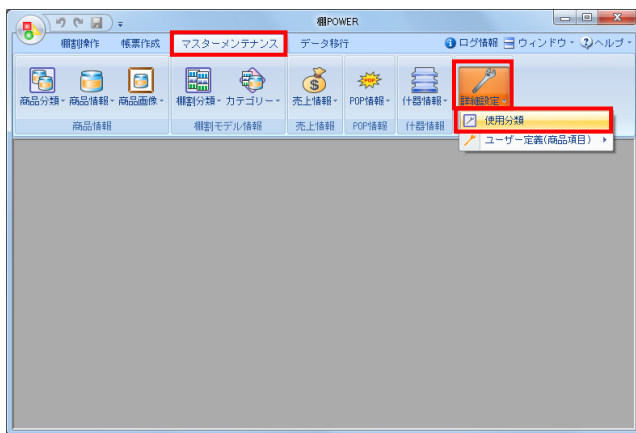


5. [実行] をクリックすると、インポート処理が開始します。
棚割分類が一括で登録されます。

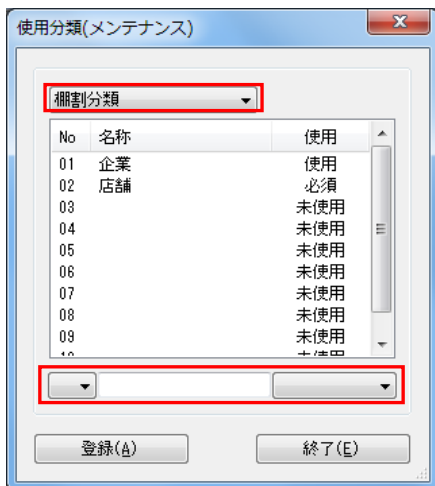
■新たな分類単位の追加(棚割分類)



1. 既存の分類単位の名称を変更したり、新しく追加したりすることが可能です。



2. 分類単位の名称変更や分類の種類を追加する場合は、
[マスターメンテナンス] - [詳細設定] - [使用分類] をクリックします。



3. 上部のプルダウンメニューより「棚割分類」を選択します。

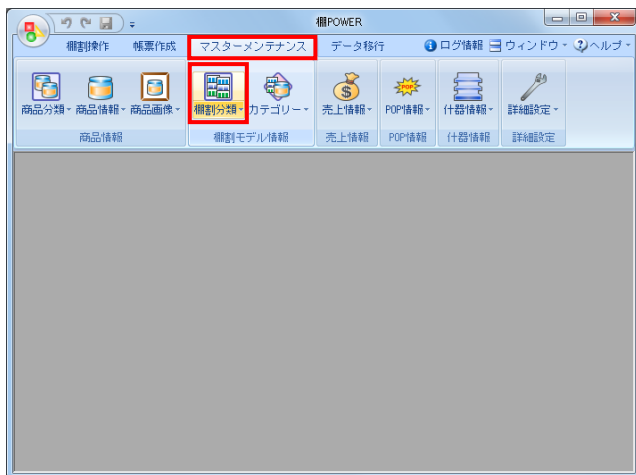
【分類単位の名称を変更したい場合】
変更したい分類をクリックして、下部のテキストボックスに分類名称を入力して「登録」をクリックします。

【棚割分類の種類を追加したい場合】
未使用になっている棚割分類をクリックして名称を入力します。テキストボックス右側にあるプルダウンメニューで「使用」を選択して「登録」をクリックします。

登録後は棚割分類のメンテナンス画面に反映されます。

※既存の分類単位の名称を変更した場合、紐付いた各分類は引き継がれます。

■棚割階層分類の登録



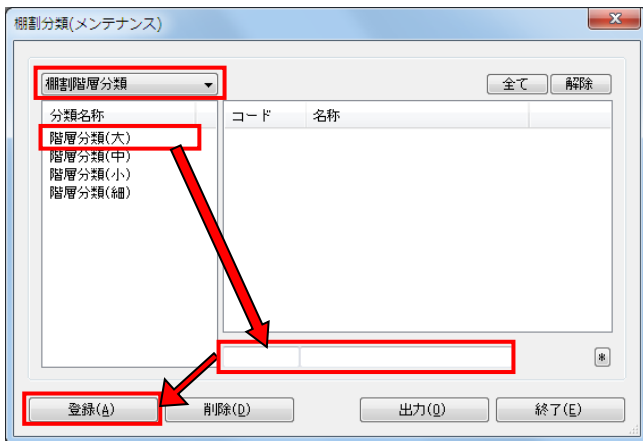
1. 棚割階層分類の登録を行ないます。

棚割階層分類を登録することで、A企業の東京店というように、棚割モデルを階層化して管理することができます。

〔マスターメンテナンス〕－〔棚割分類〕をクリックします。

※棚割階層分類の登録は必須ではありません。

※使用する場合は、〔環境設定〕－〔基本設定 (2) 〕内の「棚割階層分類」を「使用」に変更してください。



2. 画面上部にて「棚割階層分類」を選択します。
次に、登録する分類名称を選択します。

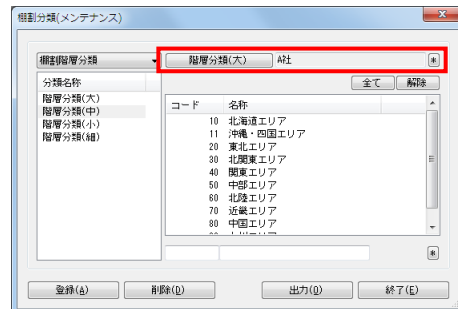
画面右下のテキストボックスに「コード」と「名称」を入力して〔登録〕をクリックします。

登録が完了すれば、画面右側の登録一覧に表示されます。

棚割階層分類で下位の階層に登録する場合は、上位の階層を登録しておく必要があります。

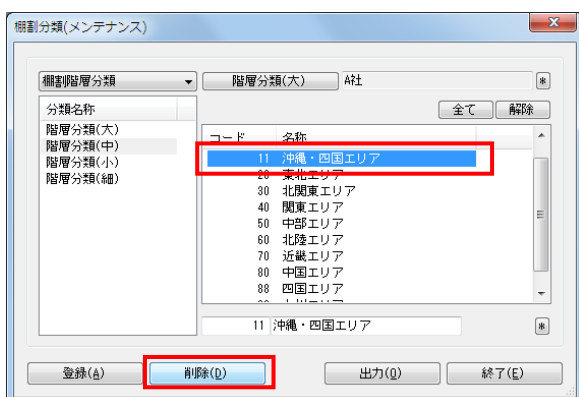
例えば、棚割階層分類（中）の登録をする場合は、その上位階層である階層分類（大）を選択して登録します。

そのため、先に階層分類（大）の登録が必要です。

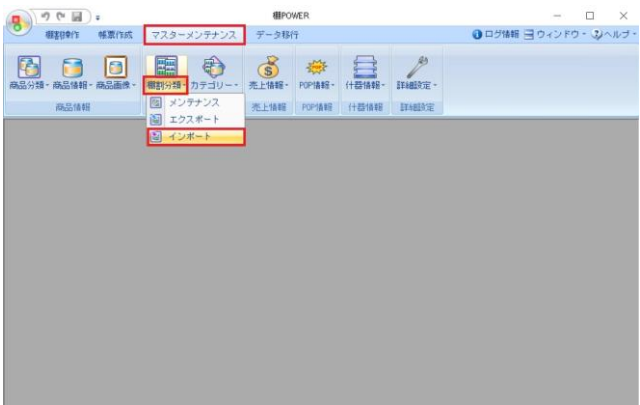
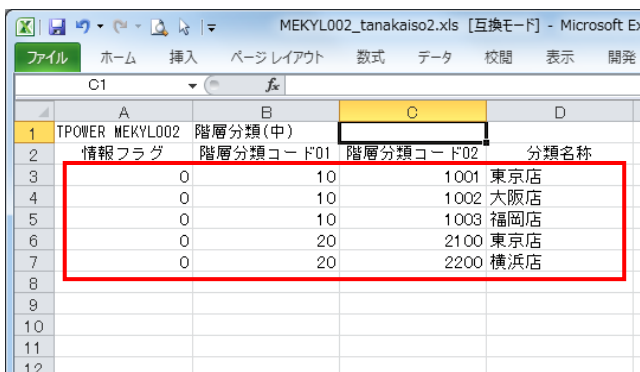
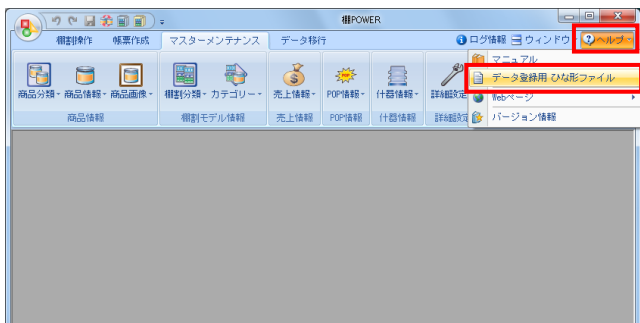


3. 登録した分類を削除したい場合は、一覧より削除したい分類を選択して〔削除〕をクリックします。

※複数一括で削除したい場合は、ShiftやCtrlキーを押しながら削除したいコード・名称を選択して削除を実行します。



■棚割階層分類の一括登録



1. 階層分類を一括で登録することができます。
登録数が多い場合やExcelを使用して登録する場合などは一括登録を行いません。

階層分類の一括登録はひな形ファイルを活用します。

「ヘルプ」－「データ登録用ひな形ファイル」をクリックします。

2. データ登録用ひな形ファイル一覧が表示します。
階層分類(中)を登録する場合は、一覧より「棚割分類(階層分類)」下の「階層分類(中)」を選択して、任意の場所に保存します。

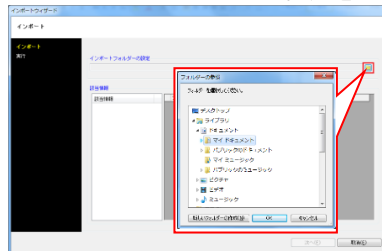
- 出力した階層分類のひな形ファイルを開きます。
ファイルの3行目以降に階層分類の「分類コード」と「分類名称」を入力します。

階層分類(中)以下の階層分類を登録する場合は、上位の階層分類コードも入力する必要があります。
各項目の入力後、上書き保存します。

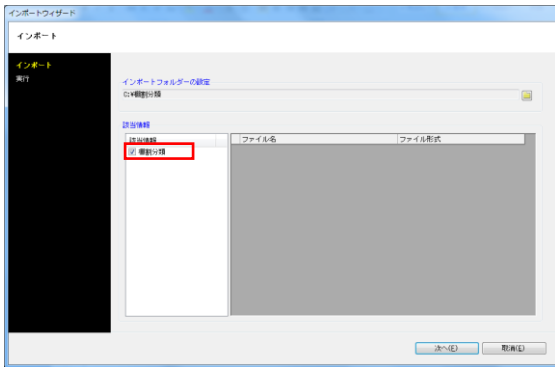
左図のように階層分類(中)を登録する場合、
まず「階層分類コード01」の項目に上位(階層分類(大))の
階層分類コードを入力します。
次に「階層分類コード02」と「分類名称」の項目に
階層分類(中)に登録するコードと名称を入力します。

4. 編集したひな形ファイルをインポートします。
 [マスターメンテナンス] - [棚割分類] - [インポート]
 をクリックします。

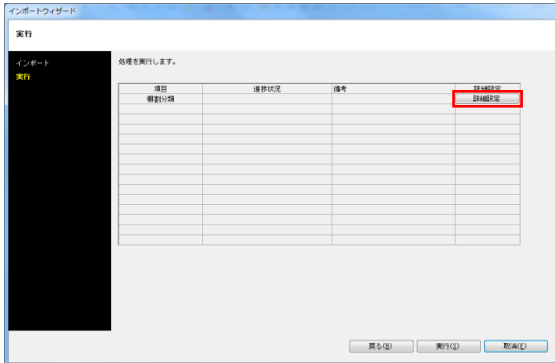
インポートウィザードが開くとフォルダーアイコンを選択してインポートフォルダーの設定を行ないます。



5. インポートフォルダーの設定後、該当情報に「棚割分類」が表示したことを確認して「次へ」をクリックします。



6. 棚割分類の「詳細設定」をクリックします。



7. 詳細設定で、インポートする時の条件を設定します。各項目の設定が完了すれば「設定」をクリックします。



【データ選択】

有効情報が削除情報が選択します。
全情報は有効情報と削除情報どちらも対象になります。

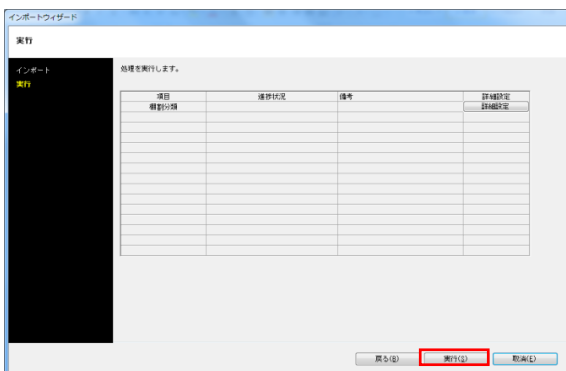
【未登録情報のみ】

棚POWERに登録されていない情報のみ新規登録します。

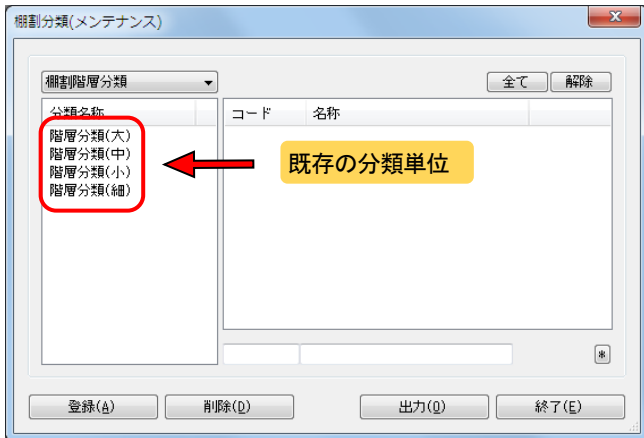
【登録済情報のみ】

棚POWERに登録済の情報のみ更新します。

8. 「実行」をクリックすると、インポート処理が開始されます。階層分類が一括で登録されます。

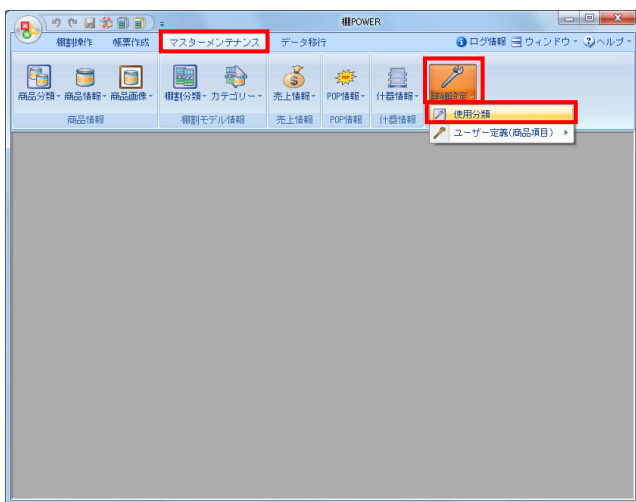


■新たな分類単位の追加(階層分類)

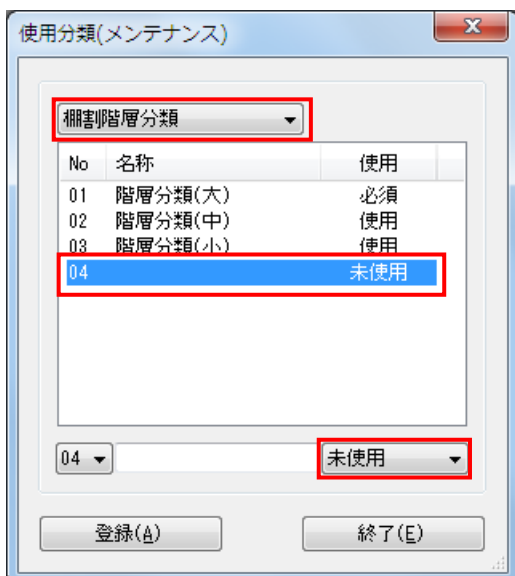


1. 既存の分類単位の名称を変更したり、不要な分類単位を未使用にしたりすることが可能です。

※階層分類は4分類までの使用が上限となります。



2. 「マスターメンテナンス」－「詳細設定」－「使用分類」をクリックします。



3. 上部のプルダウンメニューより「棚割階層分類」を選択します。

【分類単位の名称を変更したい場合】
変更したい分類をクリックして、下部のテキストボックスに分類名称を入力して「登録」をクリックします。

【不要な分類単位を未使用にしたい場合】
未使用にする分類Noをクリックして、プルダウンメニューで「未使用」を選択して「登録」をクリックします。

登録後は棚割分類のメンテナンス画面に反映します。